

授業改善書

科目名	英語 VI (読む英語)
担当者	岡崎真美

授業の概要

英語の四技能のうち、読解力を涵養する。与えられた英文を鵜呑みにするのではなく、批判的に読み、自身の意見を構築して発表する。辞書があれば英語で書かれたウェブサイトが読めるようになる。精読を中心に、セマティック・リーディングを実施する。スキャンニング、スキミングも利用して速読力も涵養する。付随的ではあるが、テキストの演習問題を活用して英語の四技能（「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」）を涵養する。異文化理解の観点からイギリス連合王国の社会と文化について学ぶ。

授業の問題点

旧カリキュラムの授業で履修者が少なく、宿題、予習、意見の発表など、事細かに授業で指導ができた。履修者が80名を超えた時には不可能であったが、毎回、宿題や予習、復習のチェックが細かく出来た。従って、授業時間以外の予習時間が増加した。また、高い授業評価を得て感謝している。このままの路線で、きめ細かい指導を続けて行きたい。

学生の授業満足度

学生の皆様の授業満足度が、4.5と5であった。高い評価を得て感謝している。このままの授業方針で努力を続けて行きたい。

授業改善の課題と方策

学生の皆様の授業満足度が、4.5と5であった。高い評価を得て感謝している。このままの授業方針で努力を続けて行きたい。このまま、懇切丁寧な授業を続けて行きたい。また、文法の説明も詳しく続けて行きたい。

その他

テキストがイギリスの社会と文化を扱ったベストセラーであったので、学生の皆さまも興味深く学べたと思われる。このまま、異文化理解の路線で授業経営を続けたい。